

上田女子短期大学第29回児童文化研究大会内容報告

期 日：平成18年7月8日(土)午後1時30分～4時
会 場：上田女子短期大学 21番教室
形 態：シンポジウム
パネリスト紹介：清水 芳子さん 上田市立西塩田保育園 園長
宮尾 秀子さん CAPスペシャリスト
保屋野 秀樹さん 中塩田小学校 平成17年度PTA会長
犬飼 己紀子 上田女子短期大学教授

1. 大会テーマ 子どもの安全を育む～地域、家庭、保育・教育現場の連携～

2. テーマ設定の理由

近年、子どもが被害者となる痛ましい事件や事故が問題視され、子どもを守るためのさまざまな取り組みが始まった。幼児教育に携わる者として我々は子どものために今、何ができるのか。何をすべきなのか。地域社会がどのように連携し、安全で健やかな子どもの育ちを保障していくのか、4人のパネリストと参加者と共に方向性を見出すことを目的にテーマを設定した。

3. シンポジウム

まず4人のパネリストからの報告と話題提供をいただいた。

1) 清水 芳子さん 上田市立西塩田保育園 園長

保育の現場で取り組んでいる子どもへの防犯訓練や教育の実際について報告をいただいた。中でも上田市公立保育園園長会では、専門家の意見を取り入れながら保育園における不審者対応の計画を具体させる取り組みが始まっており、その解説もお話いただいた。

2) 宮尾 秀子さん CAPスペシャリスト

子どもへの暴力防止プログラム「CAP」の理念とCAPスペシャリストとして学校や地域で活動されている様子についてお話いただいた。子どもをおとなに守られるだけの弱い存在とは考えず子ども自身に自分で自分の身を守る力があることを伝えるCAPの実践が子どもたちの過度な不安感を軽減し自信や安心感を育てていることを報告いただいた。

3) 保屋野 秀樹さん 中塩田小学校 平成17年度PTA会長

小学校区の保護者と住民が主体となった地域での取り組み「みまもり隊」を立ち上げられた経緯とその実際についてご報告いただいた。また、「おやじの会」の活動を通し父親の地域活動への参加を促すなど防犯対策上も期待が寄せられる地域ネットワークづくりの取り組みについてお話いただいた。

4) 犬飼 己紀子 上田女子短期大学教授

子どもの健やかな心身の発育発達を願い、教育現場はもとより地域においても様々な活動を展開している立場からの報告と提言をいただいた。子どもの安全教育として体験学習の有効性を訴え積極的安全教育の重要性についてお話いただいた。

5) フロアからの意見交換と質疑応答

当日は約80名の参加者があり、行政関係や保育士、幼稚園教諭、子どもにかかわる地域活動関係者、本学学生からの質問や意見が出された。それぞれの取り組みに対する質問の他、地域全体の連携の大切さを参加者で共通確認し大会を終了した。

(文責・金山 美和子)